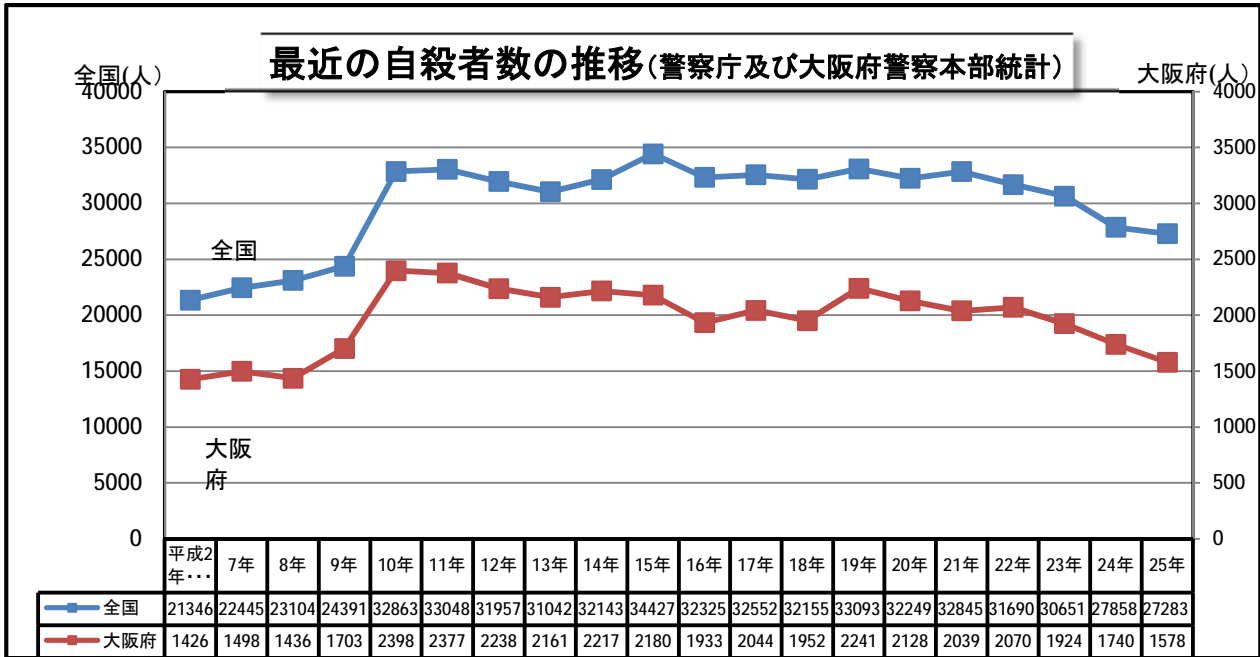
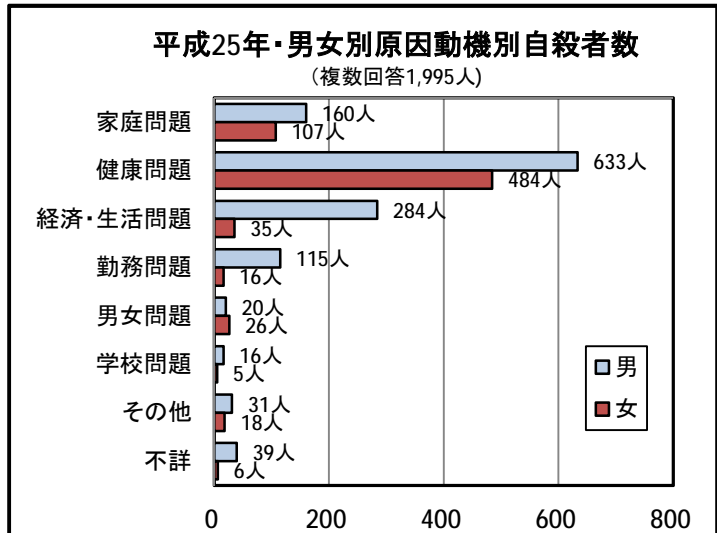
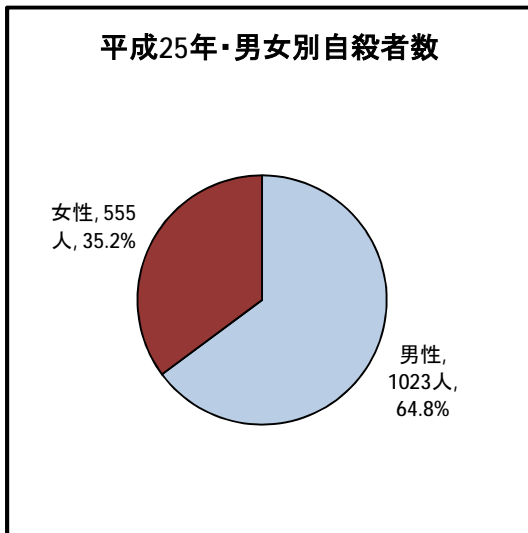


大阪府の自殺の概要<平成25年>

※警察庁及び大阪府警本部統計

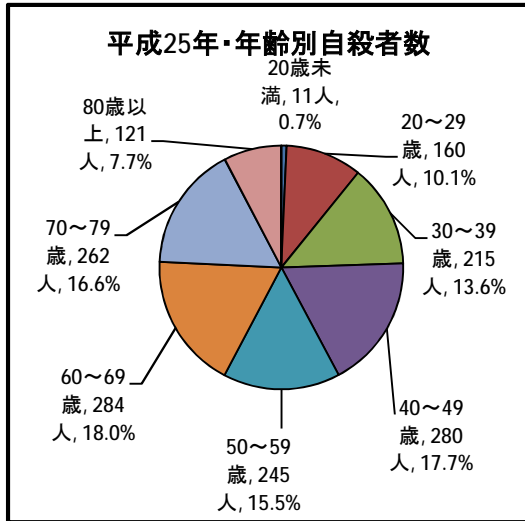


全国の自殺者数は、平成10年以降3万人を超えており高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、24年25年と3万人を下回りました。
 大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの、横ばい状態で推移。平成22年から減少傾向となり、平成23年以降3年続けて2千人を下回りました。平成25年は1,578人、1日約4人が亡くなっている状況です。

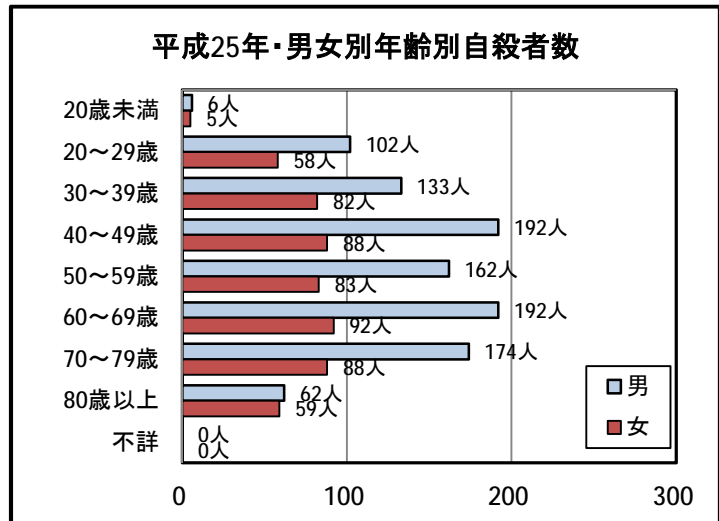


男女別自殺者数は、男性が1,023人(64.8%)、女性が555人(35.2%)となっており、依然として男性の数が女性の約2倍となっています。

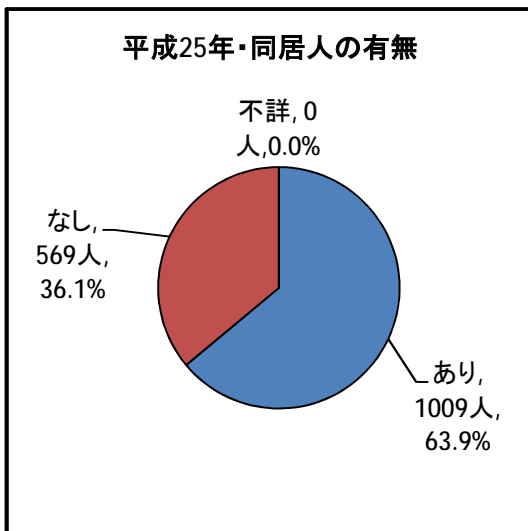
平成19年から原因・動機を3つまで計上することとしており単純に比較はできませんが、昨年同様「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」が男女共に半数以上を占めています。割合としてはあまり変わりが見られませんが、「勤務問題」「男女問題」「学校問題」とも、減少傾向にあります。



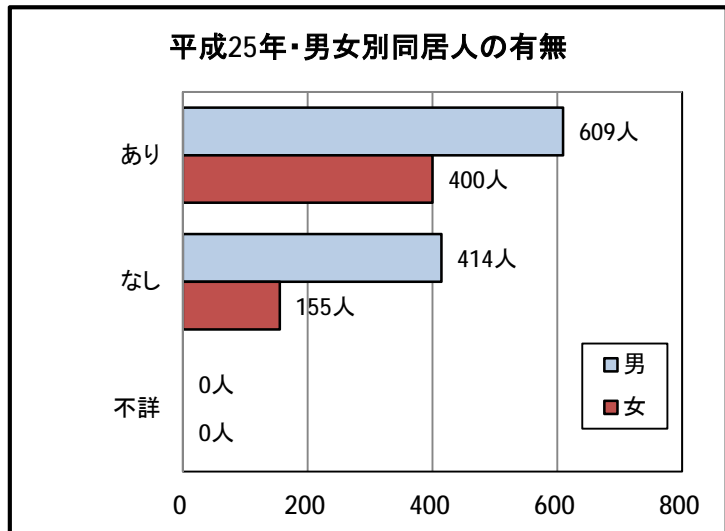
年齢別自殺者数の割合は、「60～69歳」が284人（18.0%）と最も多く、次いで「40～49歳」が280人（17.7%）、「70～79歳」が262人（16.6%）と続いており、高齢者の割合が増加しています。



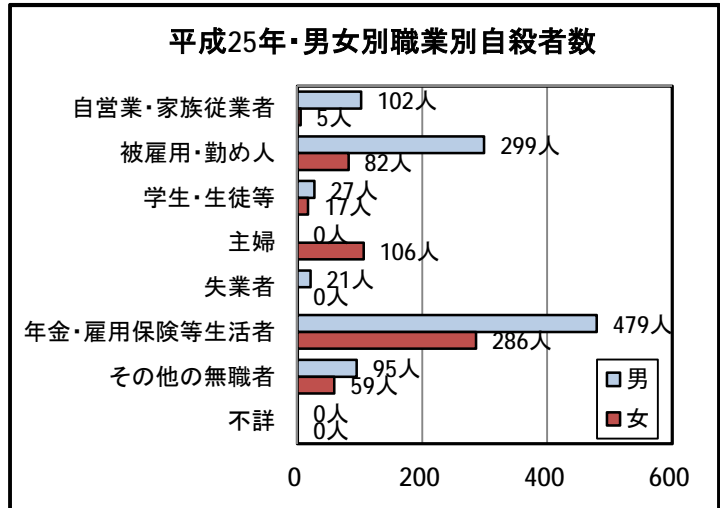
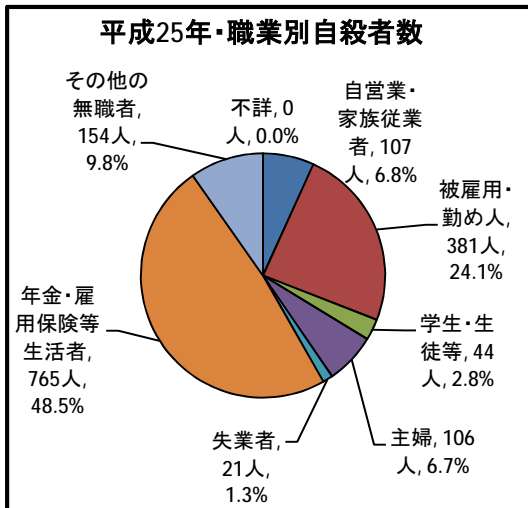
年齢別男女別自殺者数を比較すると、女性は「30～39歳」から「70～79歳」にかけて自殺者数の数値がほぼ並んでおり、男性では「40～49歳」と「60～69歳」が多くなっています。



同居人の有無でみると、自殺者のうち、「同居人あり」が1,009人（63.9%）、「同居人なし」が569人（36.1%）とあり、「同居人あり」が半数を超えています。

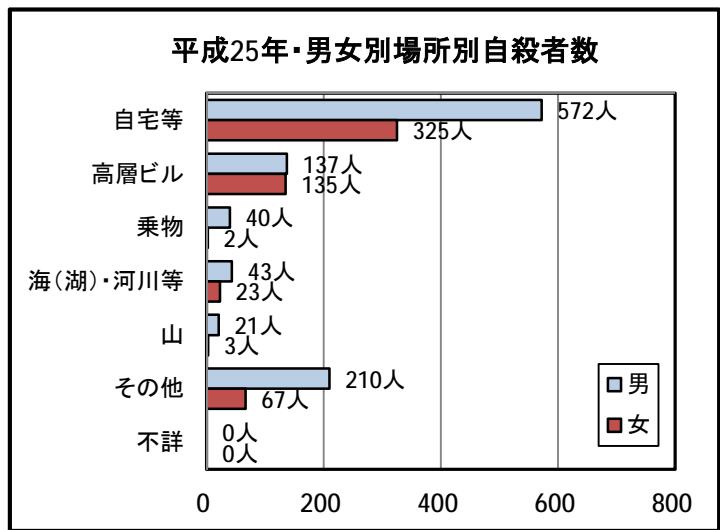
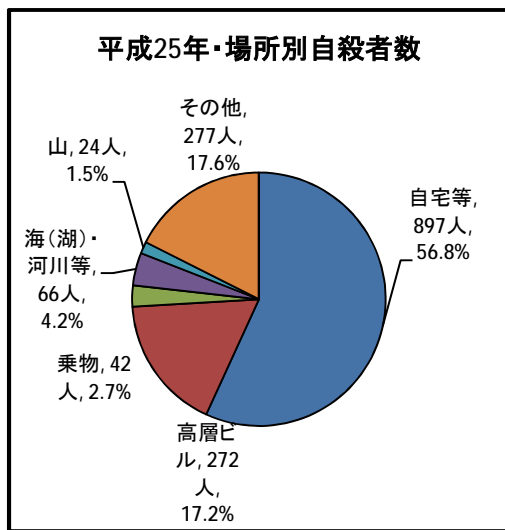


男女別に同居人の有無をみると、男性で609人（59.5%）、女性で400人（72.1%）が「同居人あり」でした。また、男性で414人（40.5%）、女性で155人（27.9%）が「同居人なし」でした。割合で見ると、女性のほうが「同居人あり」が多くなっています。



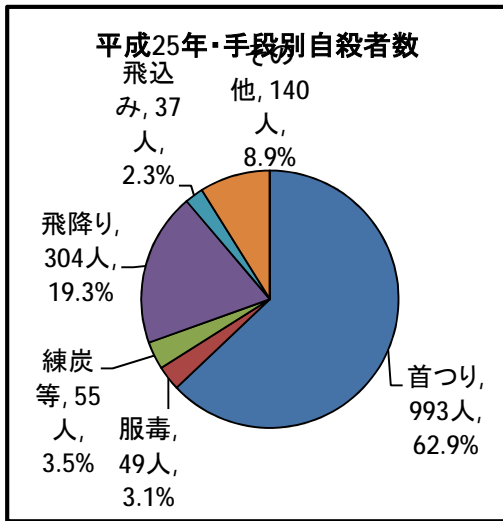
職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が多く、765人と全体の約50%を占めています。この割合は昨年の割合より上昇しています。次いで「被雇用・勤め人」381人(24.1%)「その他の無職者」154人(9.8%)となっています。

職業別自殺者数を男女別で見ると、男女共に「年金・雇用保険等生活者」が多く、次いで男性は「被雇用・勤め人」、女性は「主婦」が多くなっています。

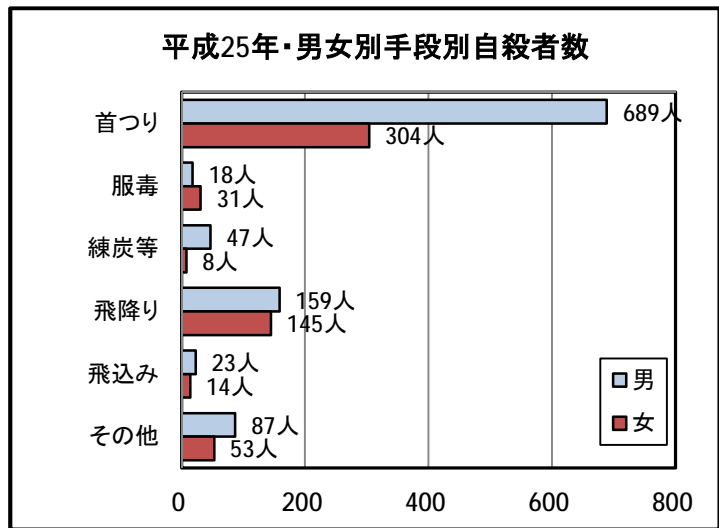


場所別自殺者数では、「自宅等」が897人(56.8%)と半数を超えており、次いでほぼ同じ割合で「その他」「高層ビル」と続いています。

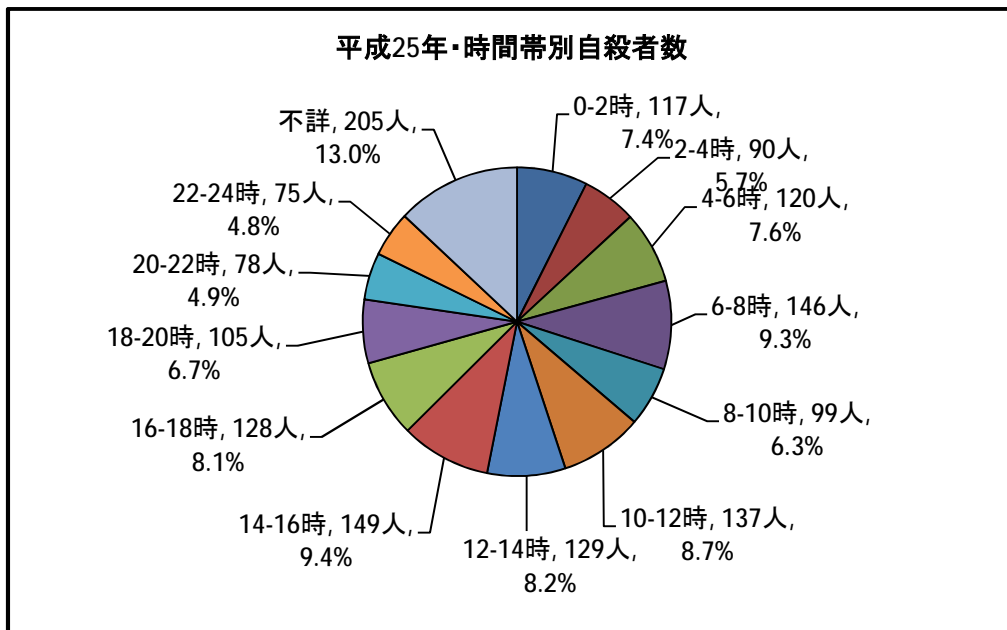
男女別で場所別自殺者数を見ると、男女共に自宅等が多くなっています。次いで男性は「その他」「高層ビル」、女性は「高層ビル」「その他」と続いています。



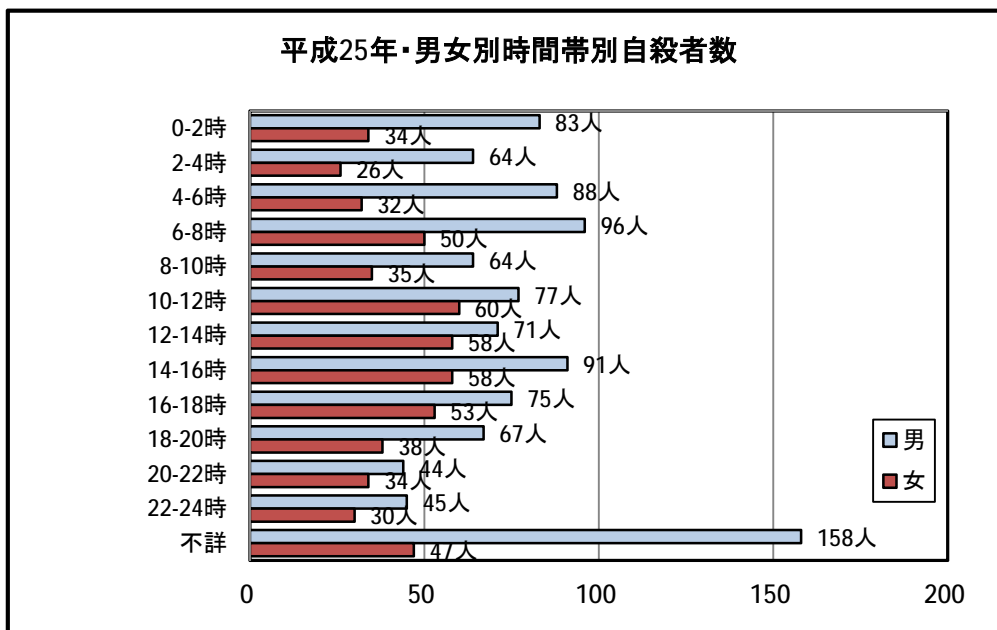
手段別自殺者数では「首つり」が993(62.9%)と過半数を占めており、次いで飛降りが304人(19.3%)とあり、その他の分類においてもほぼ昨年同様の割合となっています。



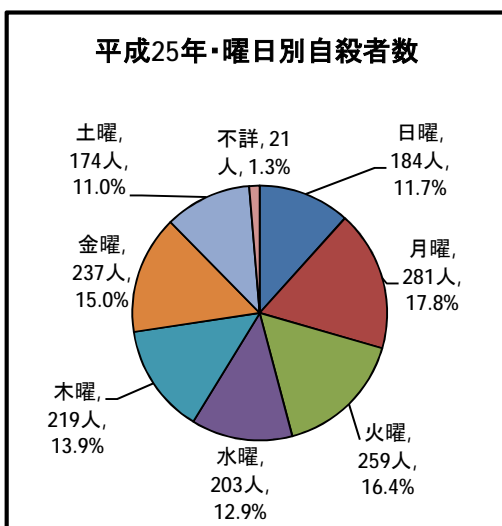
手段別男女別自殺者数を見ると「首つり」が男女共に多く、次いで飛降りが多くなっています。その他の項目を見ると、ほとんどの手段で男性が上回っていますが、服毒のみ女性の方が多くなっています。



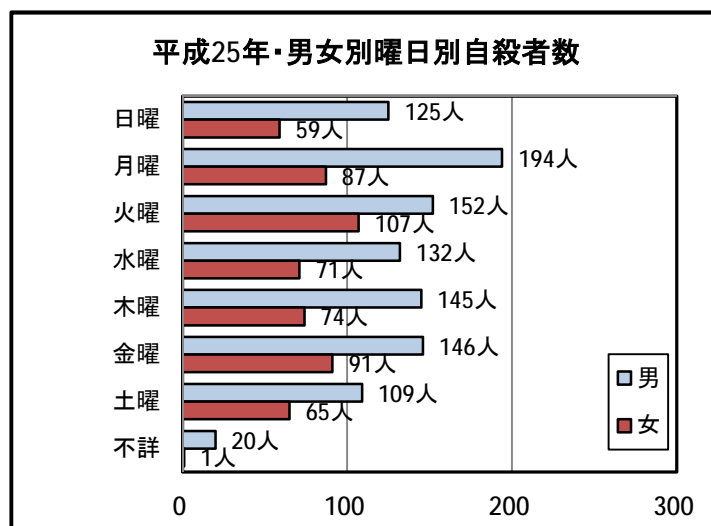
時間帯別自殺者数の割合では、どの時間帯も大差は見られませんが、「不詳」以外で最も多い時間帯は「14-16時」の149人(9.4%)、次いで「6-8時」の146人(9.3%)です。逆に少ない時間帯は「20-22時」「22-24時」であり、これは昨年と同様です。



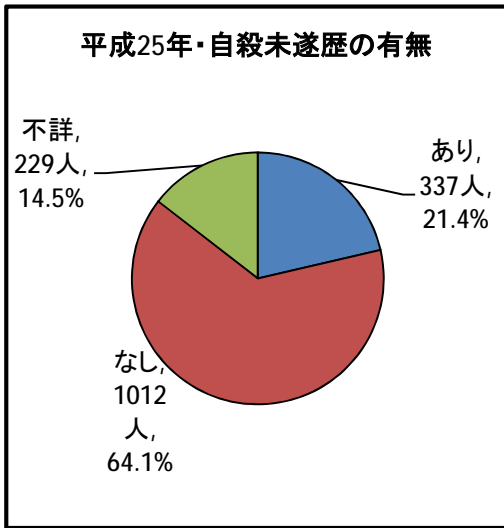
時間帯別男女別自殺者数に関しては、女性は時間帯別で見るとゆるやかな山型を描いており、夜が明けてから増え始め、日中にピークを迎えています。
 男性で目立つ時間帯は「6-8時」「14-16時」「4-6時」「0-2時」となっています。



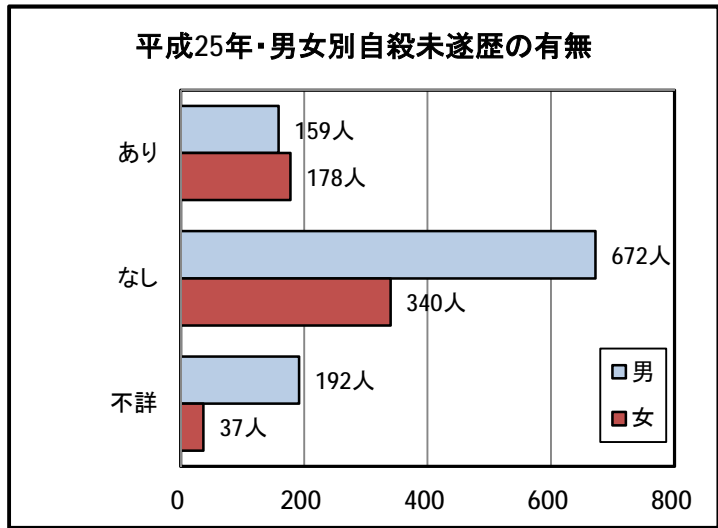
曜日別自殺者数のそれぞれの割合に大きな差は見られませんが、「土曜日」「日曜日」といった休日では若干低く、週始めの「月曜日」「火曜日」平日の最後である「金曜日」の割合が若干高い傾向があります。



男女別ではそれぞれの項目にそれほど差は見られませんが、男女共に「土曜日」「日曜日」は低く、男性では「月曜日」、女性では「火曜日」の数値が高くなっています。



自殺未遂歴の有無では「なし」1,012人(64.1%)、「あり」では337人(21.4%)です。「あり」の割合は「なし」の3分の1となっており、昨年と同じ傾向があります。



男女別に見た未遂歴の有無では、女性は男性より「あり」の人数が多く、男女別の「あり」の割合を比較すると、男性の「あり」の割合15.5%より、女性の「あり」の割合32.1%のほうが約2倍多くなっています。